

● 动物疾病智能卡诊断丛书

犬病智能卡 诊断与防治

张 信 何静荣 马衍忠◎主编

取卡

问诊

打点

统点

找大

逆推



QUANBING ZHINENGKA
ZHENDUAN YU FANGZHI



金盾出版社

动物疾病智能卡诊断丛书

犬病智能卡诊断与防治

主 编

张 信 何静荣 马衍忠

编著者

杨亚杰 李 晨 胡筱琳

何 茹 张 信 何静荣

马衍忠

审 校

何静荣 马衍忠

金 盾 出 版 社

内 容 提 要

本书为动物疾病智能卡诊断丛书的一个分册。内容包括:犬病智能诊断卡的结构和用法,41组犬病症状智能诊断卡,178种犬病防治方法,智能卡诊断疾病的基础理论概要,以及犬病症状的判定标准。应用“智能诊断卡”给家畜家禽诊断疾病,张信教授等业已做了历时33年的研究工作。本书可以帮助广大养犬户和年轻的基层动物医生依据病犬的主要症状,对病名做出初步诊断,解决“遇到症状想不全病名,想起几个病名又不知如何鉴别”的困难,是养犬户和基层兽医人员必备的工具书之一。

图书在版编目(CIP)数据

犬病智能卡诊断与防治/张信,何静荣,马衍忠主编.--北京:金盾出版社,2012.9

(动物疾病智能卡诊断丛书)

ISBN 978-7-5082-7538-3

I. ①犬… II. ①张…②何…③马… III. ①犬病—诊疗
IV. ①S858.292

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 050831 号

金盾出版社出版、总发行

北京太平路 5 号(地铁万寿路站往南)

邮政编码:100036 电话:68214039 83219215

传真:68276683 网址:www.jdcbs.cn

封面印刷:北京凌奇印刷有限责任公司

正文印刷:北京军迪印刷有限责任公司

装订:兴浩装订厂

各地新华书店经销

开本:850×1168 1/32 印张:13 字数:326 千字

2012 年 9 月第 1 版第 1 次印刷

印数:1~8 000 册 定价:25.00 元

(凡购买金盾出版社的图书,如有缺页、
倒页、脱页者,本社发行部负责调换)

数学诊断学编辑委员会

主 编

张 信 教 授 天津市老年科技工作者协会

编委

李道亮 教授 中国农业大学,中欧农业信息中心主任

杨悦 主任医师 吉林省北方肝胆医院首席专家

范振英 研究员 中国医学科学院生物医学工程研究所

霍振业 主任医师 上海远大心胸医院

尤文兰 副主任医师 天津市农垦医院

周 蛟 研究员 北京市农林科学院

孟宪松 教授 中国农业科学院

崔治国 教授 内蒙古农业大学

陈丁儒 研究员 江苏省农业科学院

赵国防 教授 天津农学院

何静荣 教授 中国农业大学

肖定汉 研究员 北京市奶牛中心

马衍忠 教授 天津农学院

杨 兵 副研究员 北京市农林科学院

刘金鸣 执业医师 天津市农垦医院

张学舜 教授 四川省西昌学院

前 言

1978 年至今,我们研究应用电脑诊病已经 33 年了。期间曾获联合国科技发明之星(TIPS)奖,获军队科技进步二等奖 1 项,获天津市科技进步二等奖 2 项,获国家专利 3 项。研制两台电脑诊断仪,有了 9 点发现,求证了 1 个诊病定理,已出丛书 10 本,研制人和动、植物疾病电脑诊病软件,最后创立了数学诊断学(数医学)。

科研感悟 33 年科研,最想说的一句话是:数学是所有事物的灵魂,不用数学任何事物都难求得统一正确解。阿基米德揭示了物体的面积和体积的灵魂——给出了公式。我们 33 年科研揭示了疾病诊断的正问题和逆问题的灵魂并给出了公式。

为什么要研究电脑诊病 凭症状判断疾病叫初诊。但遇到症状想不全病名,想起几个病名又不知如何鉴别,这是每位临床医生共同遇到的两个难题。爱因斯坦说:“提出一个问题往往比解决一个问题更为重要”。

李佩珊在《20 世纪科学技术史》中说:先进国家电脑诊病好用但不用,阻力有三:医生怕影响地位和收入,患者觉得神秘不敢用,还有法律责任谁负。我们将核心机密“病症矩阵”——诊卡公之于众,使诊病不再神秘,如果还要找负责的,我们可以负责。因为数学是解决问题的最终手段。

数学诊断学定义 用诊卡收集症状,对症状做加法运算,得出 1~3 个病名,为“辅检”提供根据。

农民能用数学诊病 公式、定理难求证,一旦求证了,使用就是很容易的事情了。正像阿基米德为我们确定了物体表面积和体积的计算方法一样。

关于本书 确立数医学方法,我们经历了病志—参考书—权威名著 3 个历史阶段。如今方法已经成熟,内容则是关键。我们

依据山东农业大学王春璈教授主编的《狗病临床手册》(2007),并参考其他犬病著作,将 178 个犬病按症状建立 41 个病组智能卡。利用此病组智能卡诊断犬病的特点:简易快速,准确可靠,减少误诊和漏诊,1 症始诊,多症逼“是”,得出初步诊断结果。

关于矩阵智能卡 症状的文字描述难以记忆,记住了也容易忘记。如果将它变成矩阵就不必记忆,而且能够计算。但是,在智能矩阵诊断卡中,疾病的病名必须使用简称,详称请见防治;症状分类必须用缩略语,平时书面用语请见附录。原因就是要在极小的空间,容纳下更多的内容。

关于诊断 诊断这个词,使用得非常混乱。老前辈邝贺龄早就纠正过,指出物理检查和实验室化验都不能称之为诊断。近年来,有的数学家就诊断的把握程度撰写论文,界定了诊断的四个等级:100%把握叫确诊;75%把握叫初诊;50%把握叫疑诊,25%把握叫待诊。

对于动物医生而言,症状观察非常重要、必不可缺。经症状观察、给出初诊,缩小搜索范围,集中到可能性较大的少数几种疾病,以便做进一步检验,完成诊断,给出确诊。症状观察和初诊做得越好,诊断就越省事省力、效率高而成本低。所以,动物医生的水平,既要看看其试验室检验和病原鉴定的技术高低,又要看看其根据临床症状进行初诊的本领和经验。

对于农民和基层动物医生而言,他们希望根据症状观察就能识别一般常见的疾病;对于初见或罕见疾病,也希望根据症状能得出初诊结果,即可疑为哪几种疾病。他们由于条件所限,往往不能进行实验室检测。他们通常通过症状观察做出初诊,然后咨询技术人员。

所以,症状初诊,不论对生产者还是研究者,都是必要的和重要的,都需要充分发挥其作用。

关于辅检 “辅检”是更精确的数学。科技日新月异,也表现在医疗器械上。所以,我们定位智能诊断卡是为“辅检”提供根据

的。但“辅检”是验证初诊的，而不是为了建立初诊。过度“辅检”还会增加百姓负担且无必要。

关于防治和药物 新药与日俱增，我们编委们商定，在疾病防治上要写出“新、特、全”，但不写剂量。因为农民或基层技术人员都是到药店买药，定会遵从厂家的用量用法。

最后，应当申明，数学诊断学属于笔者首创。但由于水平所限，可能有不妥当处，有待进一步完善。因此，希望广大读者和有关学者给以批评指正！

张 信

目 录

第一章 犬病智能诊断卡使用说明	(1)
一、智能诊断卡的构成	(1)
二、本书所用符号及其含义	(1)
三、智能诊断卡的使用方法	(2)
(一)取卡	(2)
(二)问诊	(2)
(三)打点	(2)
(四)统计(算点)	(2)
(五)找大	(2)
(六)逆诊	(3)
(七)辅检	(3)
(八)综合诊断	(3)
第二章 犬病智能诊断卡和犬病辅检表	(4)
一、41 组犬病智能诊断卡	(4)
1 组 癫痫	(4)
2 组 昏迷 V 昏睡 V 昏厥	(8)
3 组 紧张不安 V 惊厥 V 惶恐	(13)
4 组 兴奋 V 痛苦 V 骚动 V 狂暴	(17)
5 组 休克	(24)
6 组 异食癖	(28)
7 组 饮欲异常	(30)
8 组 体温低 V 畏寒 V 战栗	(34)
9-1 组 体温升高	(37)
9-2 组 体温升高	(41)
9-3 组 体温升高	(46)

10 组	头颈姿势异常	(51)
11 组	流涎	(56)
12 组	叫声异常	(62)
13-1 组	身抽搐	(70)
13-2 组	身抽搐	(76)
14 组	皮膜白	(79)
15 组	皮膜黄	(83)
16 组	皮膜发绀	(86)
17 组	身 V 肢麻痹	(91)
18 组	痒——皮痒	(94)
19 组	痒——他处痒	(99)
20 组	皮厚 V 褶 V 屑	(103)
21 组	瘫痪 V (后躯 V 后肢)异常	(109)
22 组	贫血	(121)
23 组	鼻涕	(130)
24 组	咳	(133)
25 组	呼吸快 V 浅 V 促	(141)
26-1 组	呼吸困难	(149)
26-2 组	呼吸困难	(158)
27 组	粪干 V 便秘	(172)
28-1 组	腹泻(传染病和寄生虫病)	(175)
28-2 组	腹泻(内科病)	(179)
29 组	腹大	(184)
30 组	腹痛	(187)
31 组	尿血	(198)
32 组	跛	(201)
33 组	转圈	(205)
34 组	蹒跚	(207)
35 组	运肌颤抖 V 痉挛 V 震颤	(218)

36 组	眼角膜异常	(220)
37 组	流眼泪 V 眼眵异常	(232)
38 组	眼视异常	(239)
39 组	流产	(253)
40 组	母犬阴道、阴门异常	(255)
41 组	公犬生殖(器)病	(259)
二、2 个犬病诊断附表		(263)
附表 2-1	由病名找诊断卡号提示	(263)
附表 2-2	犬病辅检项目提示	(266)
第三章 犬病防治		(277)
一、犬的综合保健措施		(277)
(一)	疫苗注射	(277)
(二)	驱虫	(278)
(三)	加强饲养管理	(278)
(四)	运动保健	(280)
(五)	加强卫生管理	(281)
(六)	严格执行消毒制度,消灭传播媒介	(281)
二、犬的保定与给药方法		(282)
(一)	保定	(282)
(二)	给药方法	(286)
三、常见传染病的防治		(288)
(一)	犬瘟热	(288)
(二)	犬细小病毒感染	(289)
(三)	犬传染性肝炎	(290)
(四)	犬冠状病毒感染	(290)
(五)	狂犬病	(290)
(六)	犬副流感	(291)
(七)	疱疹病毒感染	(291)
(八)	传染性支气管炎	(292)

(九)布氏杆菌病·····	(292)
(十)结核病·····	(292)
(十一)肉毒梭菌中毒症·····	(293)
(十二)大肠杆菌病·····	(293)
(十三)钩端螺旋体病·····	(294)
(十四)沙门氏菌病·····	(294)
(十五)破伤风·····	(295)
(十六)皮肤真菌病·····	(295)
四、常见寄生虫病的防治·····	(296)
(十七)球虫病·····	(296)
(十八)巴贝斯虫病·····	(296)
(十九)弓形虫病·····	(296)
(二十)附红细胞体病·····	(297)
(二十一)蛔虫病·····	(297)
(二十二)绦虫病·····	(297)
(二十三)犬心丝虫病·····	(298)
(二十四)眼虫病·····	(298)
(二十五)钩虫病·····	(298)
(二十六)鞭虫病·····	(299)
(二十七)华支睾吸虫病·····	(299)
(二十八)血色食管虫病·····	(299)
(二十九)蠕形螨病·····	(299)
(三十)疥螨病·····	(300)
(三十一)蜱病·····	(300)
(三十二)虱病·····	(300)
五、常见普通病的防治·····	(301)
(三十三)口炎·····	(301)
(三十四)舌炎·····	(301)
(三十五)齿龈炎·····	(301)

(三十六)咽麻痹·····	(301)
(三十七)食管梗塞·····	(302)
(三十八)食管狭窄·····	(302)
(三十九)食管憩室·····	(302)
(四十)胃内异物·····	(302)
(四十一)急性胃炎·····	(303)
(四十二)胃扩张—扭转综合征·····	(303)
(四十三)幽门狭窄·····	(304)
(四十四)胃肠炎·····	(304)
(四十五)急性出血性胃肠炎·····	(304)
(四十六)小肠内异物·····	(305)
(四十七)肠梗阻·····	(305)
(四十八)肠套叠·····	(305)
(四十九)肠绞窄·····	(306)
(五十)直肠脱·····	(306)
(五十一)锁肛·····	(306)
(五十二)肛门囊肿·····	(306)
(五十三)巨结肠症·····	(307)
(五十四)脂肪肝·····	(307)
(五十五)肝硬化·····	(307)
(五十六)急性肝炎·····	(308)
(五十七)肝破裂·····	(308)
(五十八)脾破裂·····	(308)
(五十九)急性胰腺炎·····	(308)
(六十)急性腹膜炎·····	(309)
(六十一)腹水·····	(309)
(六十二)鼻出血·····	(309)
(六十三)鼻炎·····	(309)
(六十四)感冒·····	(310)

(六十五) 支气管炎.....	(310)
(六十六) 支气管肺炎.....	(311)
(六十七) 肺炎.....	(311)
(六十八) 肺出血.....	(311)
(六十九) 肺水肿.....	(311)
(七十) 胸膜炎.....	(312)
(七十一) 胸腔积液.....	(312)
(七十二) 胸腔蓄脓.....	(312)
(七十三) 气胸.....	(312)
(七十四) 心力衰竭.....	(313)
(七十五) 心律失常.....	(313)
(七十六) 心肌炎.....	(313)
(七十七) 心包炎.....	(313)
(七十八) 心房纤颤.....	(314)
(七十九) 心室纤颤.....	(314)
(八十) 尿石症.....	(314)
(八十一) 膀胱炎.....	(315)
(八十二) 膀胱麻痹.....	(315)
(八十三) 前列腺肥大.....	(315)
(八十四) 阴道脱.....	(315)
(八十五) 子宫脱.....	(316)
(八十六) 难产.....	(316)
(八十七) 尿道损伤.....	(317)
(八十八) 尿道狭窄.....	(317)
(八十九) 流产.....	(317)
(九十) 子宫肌瘤.....	(318)
(九十一) 子宫蓄脓.....	(318)
(九十二) 阴道增生.....	(318)
(九十三) 阴道炎.....	(318)

(九十四)嵌顿阴茎.....	(319)
(九十五)乳腺肿瘤.....	(319)
(九十六)急性肾衰竭.....	(319)
(九十七)佝偻病.....	(319)
(九十八)产后子痫.....	(320)
(九十九)高脂血症.....	(320)
(一〇〇)维生素 A 过剩症	(321)
(一〇一)维生素缺乏症.....	(321)
(一〇二)异食癖.....	(321)
(一〇三)垂体病.....	(322)
(一〇四)甲状腺病.....	(322)
(一〇五)甲状旁腺病.....	(323)
(一〇六)肾上腺病.....	(324)
(一〇七)糖尿病	(325)
(一〇八)胰岛瘤.....	(325)
(一〇九)癫痫.....	(325)
(一一〇)脑炎.....	(325)
(一一一)肝性脑病.....	(326)
(一一二)面神经麻痹.....	(326)
(一一三)日射病和热射病.....	(327)
(一一四)自咬症.....	(327)
(一一五)丙酮苕羟香豆素中毒.....	(328)
(一一六)马钱子中毒.....	(329)
(一一七)有机磷农药中毒.....	(329)
(一一八)阿维菌素中毒.....	(330)
(一一九)咪唑苯脲中毒.....	(330)
(一二〇)吡啶酸中毒.....	(330)
(一二一)有机氟中毒.....	(331)
(一二二)三硝基甲苯中毒.....	(331)

(一二三)洋葱中毒·····	(331)
(一二四)砷中毒·····	(331)
(一二五)铅中毒·····	(332)
(一二六)骨折·····	(332)
(一二七)髌骨脱位·····	(333)
(一二八)风湿病·····	(333)
(一二九)多发性关节炎·····	(334)
(一三〇)椎间盘突出症·····	(334)
(一三一)运动失调综合征·····	(335)
(一三二)斜颈·····	(335)
(一三三)特发多发性肌炎·····	(335)
(一三四)肌肉酸中毒症·····	(336)
(一三五)爪过度弯曲症·····	(336)
(一三六)骨关节病·····	(336)
(一三七)髋关节发育异常·····	(337)
(一三八)化脓性骨髓炎·····	(337)
(一三九)骨软骨病·····	(337)
(一四〇)眼睑内翻·····	(338)
(一四一)眼睑外翻·····	(338)
(一四二)眼睑炎·····	(338)
(一四三)瞬膜腺突出症·····	(339)
(一四四)结膜炎·····	(339)
(一四五)角膜炎·····	(340)
(一四六)霍纳氏综合征·····	(340)
(一四七)角膜溃疡·····	(341)
(一四八)白内障·····	(341)
(一四九)青光眼·····	(342)
(一五〇)干燥性角膜炎·····	(342)
(一五一)外耳炎·····	(343)

(一五二)中耳炎.....	(343)
(一五三)内耳炎.....	(344)
(一五四)耳血肿.....	(344)
(一五五)脐疝.....	(345)
(一五六)腹股沟疝.....	(345)
(一五七)阴囊疝.....	(345)
(一五八)腹壁疝.....	(346)
(一五九)会阴疝.....	(346)
(一六〇)膈疝.....	(346)
(一六一)良性肿瘤.....	(347)
(一六二)恶性肿瘤.....	(348)
(一六三)蠕形螨病	(349)
(一六四)疥螨病.....	(349)
(一六五)湿疹.....	(349)
(一六六)皮炎.....	(350)
(一六七)过敏性皮炎.....	(351)
(一六八)脂溢性皮炎.....	(351)
(一六九)荨麻疹.....	(352)
(一七〇)脱毛症.....	(352)
(一七一)脓皮病	(352)
(一七二)丝虫性皮炎	(353)
(一七三)脓肿.....	(354)
(一七四)蜂窝织炎.....	(354)
(一七五)厌氧性感染.....	(355)
(一七六)败血症.....	(355)
(一七七)开放性损伤.....	(356)
(一七八)非开放性损伤.....	(358)
第四章 数学诊断学的理论基础与方法概要.....	(360)
一、诊断现状	(361)

(一)诊断混沌.....	(361)
(二)先进的医疗仪器设备与日俱增,但过度“辅检”的 做法不可取.....	(362)
(三)从权威人士的论述看医学动向.....	(363)
二、公理	(363)
(一)公理定义.....	(363)
(二)阐释.....	(363)
(三)映射数学诊断学的公理.....	(364)
三、数学是数学诊断学之魂	(365)
(一)数学之重要	(365)
(二)初等数学.....	(367)
(三)模糊数学.....	(368)
(四)离散数学.....	(370)
(五)逻辑代数.....	(371)
(六)描述与矩阵.....	(372)
四、九点发现与求征诊病原理	(373)
(一)关于九点发现.....	(373)
(二)求征诊病原理.....	(376)
五、问答	(376)
(一)常识部分.....	(376)
(二)实践部分.....	(381)
附录.....	(385)
附录一 犬生理常数.....	(385)
附录二 犬病症状的判定标准.....	(386)
参考文献.....	(394)
跋.....	(397)